

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれています。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

前号では、私たち安平町（地方自治体）の役割と、その役割を果たすための目的としての「住民の福祉」やこれと同じように大切な考え方である「well-being（ウェルビーイング）」についてお伝えしました。

「福祉」と「ウェルビーイング」は、住民の皆様の『幸せ』ということができますが、そのかたちはさまざま。その多様なかたちの幸せを追求できるようにするための土台作りが「まちづくり」であり、その設計図が総合計画です。

広報あびら8月号では、第2次総合計画の構造やその大切さについて取り上げました。今回は、そこからもう少し踏み込んで、そもそも総合計画とはどういうものなのか、少し視点を変えて掘り下げていきます。



「総合計画」とはどのようなものなのか

下記は広報あびら8月号でご紹介した図です。

【第2次安平町総合計画の構成と期間】

●基本構想（10年間）

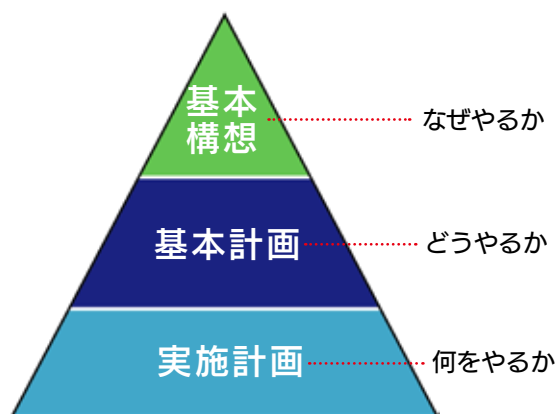
町の将来像や政策、施策の大枠を示す長期的な指針。

●基本計画（前期2年間、中期4年間、後期4年間）

基本構想を実現するための中期的な指針。政策を分野別にまとめ、現状と課題から事業の方向性などを示し、達成度を測るために成果指標を設定している。

●実施計画（3年スパンで、毎年度見直し）

基本計画に基づいた個別具体的な事業を立案。



基本構想 = なぜやるか

- ・子どもたちの元気な声が地域に響くと、高齢者も元気になる
- ・子育てを応援してくれる先輩世代が、いつまでも元気に活躍してもらいたい
- ・『子育て・教育』という安平町の強みを生かして全ての世代の方がいきいきと過ごす
そんな姿をイメージして『育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち』というスローガンを掲げ、まちづくりを進めています。

基本計画 = どうやるか

安平町は、次の6つの分野に分けてまちづくりを進めています。

- | | | |
|----------|----------------|-----------|
| I 子育て・教育 | II 人づくり・コミュニティ | III 経済・産業 |
| IV 健康・福祉 | V 生活環境・生活基盤 | VI 行財政運営 |

最も優れた強みである『子育て・教育』分野を優先すべき分野として育て、それにより安平町への『移住・定住』や街中での『回遊・交流』の流れへ結びつけていくことを狙っています。

実施計画 = 何をやるか

住民の皆様に直接影響する、役場の各種取り組み（事業）のことで。

- 例) ・地域の子どもたちが元気で楽しく子ども園や学校で過ごしてもらうための事業
- ・芸術文化に触れ、活発に地域活動ができるようにするための事業
 - ・農林業や商業を元気にするための事業
 - ・地域の医療を支えたり、皆様に健康になってもらうための事業
 - ・道路や水道を維持管理し、安心安全に暮らすための事業
 - ・上記の事業などを行う役場の機能を維持し、向上させるための事業



学校や道の駅の建設、保育料の軽減、プレミアム付き商品券を発行するなどの取り組みが住民の皆様にとって最も身近なことになるのではないのでしょうか。

「何をやるか」を考えるために、町として「どうやるのか」「なぜやるのか」をしっかりと明確に打ち立て、住民の皆様の理解を得ていく必要があります。

総合計画は、このような意味合いから『まちづくりの設計図』と表現しています。

【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元バーコードからもアクセスできます。

インターネット <https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc>

郵送先 〒059-1595 安平町早来大町95番地 安平町役場政策推進課 宛

FAX送付先 FAX 2026



総合計画に関する問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751